

人気お笑い芸人 8 組が文化会館に集結！ スペシャル PR 大使蛙亭・イワクラさんの凱旋ライブを開催



Photo1 西諸弁も取り入れた漫才を披露する蛙亭 2 ファンが見守る中で蛙亭の2人が炭火焼きに挑戦 3・4 特別企画で実施された左近太郎に盛り上がる会場 5 大盛況のミニマルシェの様子

6月3日、小林市出身のお笑い芸人で、こばやしスペシャル PR 大使を務める蛙亭・イワクラさん(吉本興業株式会社)の凱旋ライブ『蛙亭のハッピーサマーライブ 2023』が文化会館で開催されました。開催は昨年に引き続き2回目。県内外から2千人以上が来場し、吉本興業所属の人気お笑い芸人8組の漫才やコントを楽しみました。

また、来場者に小林市の食の魅力に触れてもらおうと、会場の外ではミニマルシェも開催。小林市産宮崎牛のサイコロステーキやみやざき地頭鶏の炭火焼き、マンゴースムージーなどが販売され、ライブの合間にはイワクラさんと相方の中野周平さんが駆けつけて来場者に農畜産物の魅力を PR するなど、おおいににぎわいました。

バスの乗り方を学ぶ出前講座を開催

5月26日、小林市社会福祉協議会でバスの乗り方を学ぶ出前講座を宮崎交通株式会社との協力のもと開催しました。出前講座は、地域の団体や学校などを対象に開催できます。開催を希望する場合は企画政策課(Tel.23-0456)へ問い合わせください。



長年にわたり公民館活動に尽力

6月2日、市内全105館で組織する小林市自治公民館連絡協議会の会長を長年にわたり務めた中山南一さんに、永年勤続の感謝状が贈呈されました。中山さんは平成26年から令和4年までの9年間同協議会の会長を務め、公民館活動に尽力してきました。



全国的に優れた公共建築を表彰する 公共建築賞を小林市庁舎が受賞



市庁舎は平成30年に竣工。木の伐採から建方まで、県内・市内で完結できるような企画され、地元の資源・人材・産業で大規模木造庁舎が実現しました

4月6日、市庁舎が公共建築賞(地域特別賞)を受賞しました。賞は一般社団法人公共建築協会が、公共建築の総合的な水準向上に寄与することを目的に毎年開催しているもの。建築として企画・設計・施工が優れていることをはじめ、地域社会への貢献や文化性が高く、施設管理・保全が良好に行われているかなどの視点で評価されました。

コスモスレディから制度・名称が変更となった「小林観光アンバサダー」 横山漱士郎さんと宮野愛理さんの2人が初代アンバサダーに就任

長年、市をPRしてきた「小林コスモスレディ」が今年度から性別に関係なく務められる「小林観光アンバサダー」に変更されました。初代アンバサダーに就任したのは、市内銀行員の横山漱士郎さんと会社員の宮野愛理さん。5月21日にすきむらんどで行わ

れた選任式で、横山さんは「明るさとユニークさを前面に押し出して積極的に活動したい」、宮野さんは「豊かな自然や食などの魅力などを発信していきたい」と意気込みました。2人が出席する初めてのイベントとなった「すきむらんど滝まつり」の詳細は25頁。

Photo 1 選任された宮野さん(写真左)と横山さん(写真右) 2 2人の初仕事となった、せんぐまきに盛り上がるまつり会場 3、4 今後の市の観光PRを担う2人を宮原市長が激励



生きがい学級開級式・演芸大会を開催

5月19日、文化会館で生きがい学級合同開級式が行われました。高齢者が日々充実した生活を送るための生涯学習の場として、定期的に講座を開講している生きがい学級。開級式後に行われた演芸大会では、学級生が踊りなどを披露し親睦を深めました。



子ども食堂「元気De荘」賑わう

5月20日、高齢者ケアセンターきりしまの園が大塚荘跡地でふれあい交流食堂を開催し、カレー150食を地域の子どもたちにふるまいました。これは、毎月第2土曜日に開催しているもので、同日は野菜の販売や絵本、おもちゃなどの譲渡会も実施されました。



日本一おいしい肉を全国にアピール リアル牛マスコット「べぶこ」に命名



命名式に出席した(左から)いこま屋生真由美さん、坂東辰郎さん、下村悠乃さん。今後、「べぶこ」は市内内外のイベントなどでPRの重責を担います

昨年10月から市役所玄関に展示され、公募していた牛マスコットの名前が「べぶこ」に決まり、5月27日に命名式が行われました。名前の案を応募し、名付け親となった坂東辰郎さん(宮崎市)、下村悠乃さん(三松小)の2人に、市から小林市産の宮崎牛を贈呈。また、刺繍工房いこま屋から「べぶこ」と刺繍された牛衣が寄贈されました。

父の日には「牛乳」を贈ろう 酪農家が市長を表敬訪問しPR

6月13日、JAこばやし酪農部会が市長を表敬訪問し、牛乳を贈呈しました。牛乳や乳製品の消費拡大につなげようと、同団体が毎年行っているもので、贈呈後には飼料高騰などで厳しい酪農家の現状について懇談。10年前に48戸あった市内酪農家は現在26戸にまで減少しており、担い手の確保などについて意見が交わされました。



赤木大介副会長（写真右）は「酪農家が毎日一生懸命おいしい牛乳を搾っていますので、ぜひ多くの人に味わって欲しい」と牛乳の魅力をPRしました

紙屋地区出身の夫の遺志継ぎ 赤川春美さんが市へ500万円寄付



18歳で紙屋を離れた好忠さんは「紙屋のできごとを忘れられない様子だった」と赤川さん。「主人との約束を守ってほっとした」と話していました

6月17日、群馬県在住の赤川春美さんが市に500万円を寄付しました。紙屋地区出身で、4月に亡くなった夫好忠さんが寄付を希望していたことや、春美さん自身も義母の介護で紙屋地区の人たちに助けられた感謝から、今回の寄付につながりました。いただいた寄付金は、野尻地区・紙屋地区の活性化のほか、市の事業に活用されます。

宮崎銀行CSR私募債を活用し 牛商丑力(株)が福祉事業に寄付



CSR私募債とは、社債を発行する際に、銀行側が引き受け手数料の一部を活用し、発行企業が希望する団体へ地方貢献のために寄付をする仕組みです

6月8日、牛商丑力株式会社（富永正久代表取締役）から市への寄付贈呈式が行われました。これは、株式会社宮崎銀行のCSR型私募債「With」を利用して寄付されたもの。富永代表は「市には日頃から地域の基幹産業である畜産を応援していただき感謝しています」と話しました。寄付金は福祉事業に活用されます。

小林市民吹奏楽団定期演奏会 コロナ禍乗り越え4年ぶりに開催

6月10日、小林市民吹奏楽団（森山拓朗団長）の第18回定期演奏会が文化会館でありました。開催は4年ぶりで、民謡のアレンジやドラマの主題歌などを含む多様な曲で、観客を魅了しました。森山団長は「多くの人の協力で無事に終えることができた。コロナ禍で活動できなかった分、まつりやイベントの場で活動していきたい」と話していました。



市民吹奏楽団は現在団員を募集中。団のSNS (Facebook、Twitter) かメール (shisui.jimu@gmail.com) から問い合わせください

株式会社クリーン・アクア・ビバレッジが市に100万円を寄付

6月8日、小林市の水を使ったミネラルウォーターの販売を行う株式会社クリーン・アクア・ビバレッジ（本坊修代表取締役会長）が市に100万円を寄付しました。贈呈式で本坊会長は「会社が続けるのは、小林の素晴らしい水や支援してくれる地元の人のおかげ。寄付金が市の発展に役立つことを願っています」と話していました。



㈱クリーン・アクア・ビバレッジからは2015年から毎年寄付をいただいております。今年で9回目となります。寄付金は市政の発展のため活用されます

運動・スポーツ習慣の促進を目指して

6月5日、運動・スポーツの習慣化促進を目指す実行委員会の活動がはじまりました。委員会は市役所関係課と市内関係団体で構成。働く世代のスポーツ無関心層や高齢者に対する運動・スポーツの習慣の定着化を目指して活動していきます。



地婦連が市長・教育長へ花束を贈呈

6月14日、市地域婦人連絡協議会（上原裕子会長）が、父の日訪問として日ごろの感謝の気持ちを込めた花束を市長と教育長へ贈呈しました。県地域婦人連絡協議会が知事に花束を贈呈したことをきっかけに、本市でも平成14年から毎年続く取り組みです。



初夏の風物詩「ほたるまつり」開催 延べ3700人がホタルの舞を楽しむ



鹿児島県から来場した有村忠雄さんは「昨年に続き2回目の観賞ですが、非常に多くのホタルが飛んでいて綺麗。来年も訪れたい」と感激していました

5月27日～28日と6月2日～3日の4日間、「出の山ほたるまつり2023」が開催されました。より間近で飛翔を楽しんでもらおうと、まつり期間中は、ホタル保護のため普段は立ち入りを禁止している遊歩道を開放。多い日では約3千匹以上が飛び交い、ゲンジボタルの優雅な舞に観賞客からは歓声が上がっていました。

TEAM MIYASHITA 宮下慎太郎さん ラージボール卓球九州大会で優勝

6月5日、市内で卓球競技の指導などを行う宮下慎太郎さんが、5月に行われた第24回全九州卓球選手権大会（ラージボールの部）で優勝したことを市長に報告しました。今年40歳を迎える宮下さんは男子シングルス（40歳～59歳）に初出場。優勝候補と評され、プレッシャーのかかる中で、優勝という素晴らしい結果を残しました。



宮下さんは「勝負は運次第。無事優勝できて嬉しい。スポーツが盛んな小林で指導を通し、卓球の楽しさなど、普及に力を入れたい」と意気込みました